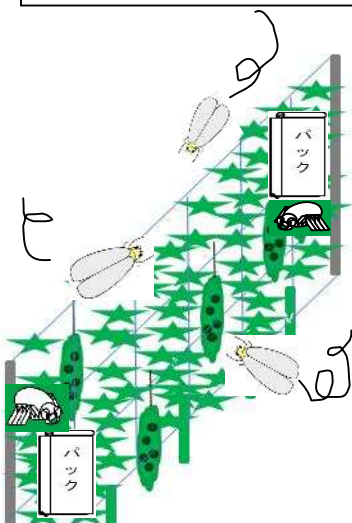
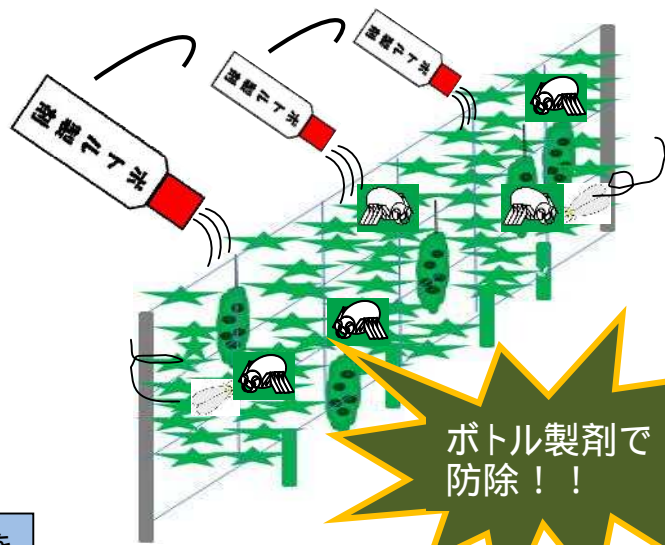


スワルスキーカブリダニ製剤を基幹とする キュウリIPM防除体系を構築しました！

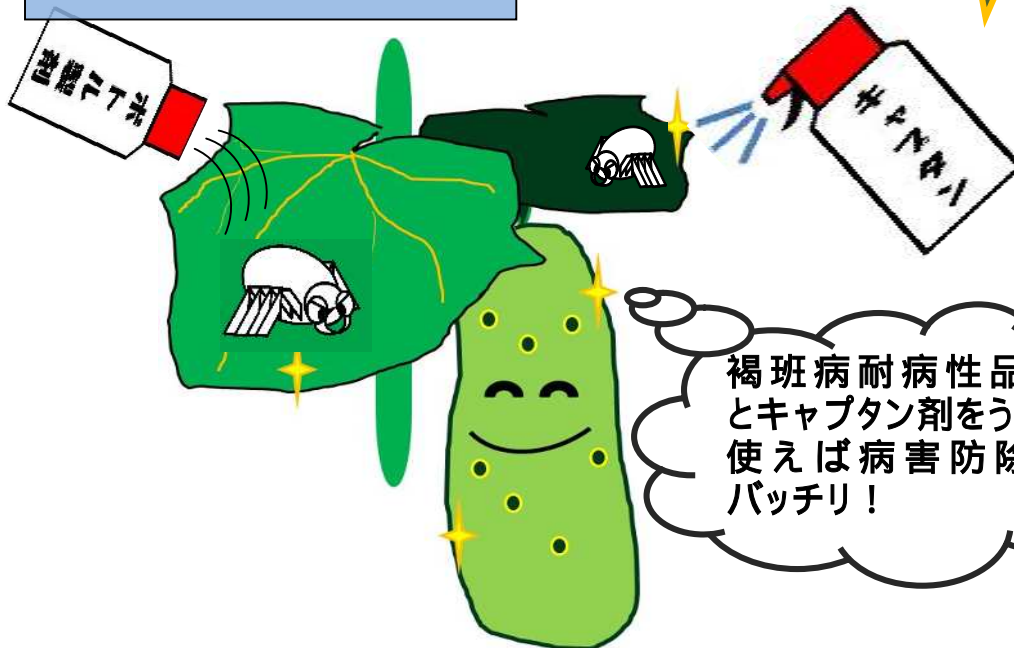
キュウリIPM栽培において、抑制作型で利用するスワルスキーカブリダニ製剤はパック製剤よりもボトル製剤の方が施設内でのスワルスキーカブリダニの拡散がよく、コナジラミ等に対する防除効果が高くなります。また、マンゼブ剤の代わりにスワルスキーカブリダニ製剤に影響がないキャプタン剤を用いることとキュウリ褐斑病耐病性品種を用いることで褐斑病も防除できます！



せっかくスワルスキーカブリダニ製剤を導入してもコナジラミがいる！！



ボトル製剤で
防除！！



褐斑病耐病性品種
とキャプタン剤をうまく
使えば病害防除も
バッチリ！